



## 奄美大島からシルク市場のニッチトップ企業を目指して

株式会社アーダン

代表取締役 西 博人

弊社は人に安全で環境にやさしい商品作りをコンセプトに、奄美大島の自社工場でシルク化粧品・衣料等の企画販売をしています。創設者である私の母、西 里依が、奄美大島の伝統産業である大島紬の素材絹(シルク)に着目し、1995年に私達の化粧品づくりは始まりました。人の肌と同じ20種のアミノ酸で構成されたシルク原料を最大87%配合した化粧品は、お客様から「肌悩みが改善した」などご評価頂き、私達の喜びになっています。

「2016かごしまの新特産品コンクール」では、奄美絹屋ブランドのハンドクリーム等が鹿児島県観光連盟会長賞を受賞致しました。奄美らしさをアピールするため、2023年に画家・田中一村の絵をパッケージに採用しリニューアル。また、同年に販売を開始した薬用シルクケイドは「第13回かごしま産業技術賞」大賞を受賞しました。弊社初の医薬部外品であり、鹿児島大学医学部の金蔵教授や多くの方々のご支援を頂き上市できた商品をお礼申し上げます。

鹿児島県工業技術センター様、特に食品・化学部の皆様から研究面で長年ご支援を頂いております。高度な加工・分析機器を活用、実験のアドバイスや指導を頂いており、この場を借りて改めてお礼申し上げます。具体的にはシルクの粉末化、ナノ

ファイバー化、化粧品開発のサポートを頂いております。商品化や学術的な発表ができていない部分はありますが、引き続き協同させて頂き、より良い商品の上市を目指して参ります。

近年の研究開発ターニングポイントは、2023年に(株)アーダンラボを「鹿児島大学認定ベンチャー」支援を受け設立したことです。鹿児島大学内にラボを構え、長年共同研究を行ってきた金蔵教授を代表取締役に迎え、創傷治癒や再生医療など医療向け研究を推進します。

私達の活動源となるシルク。実は国内の生産量が激減しています。国産繭を確保するため、子会社である(株)奄美養蚕で蚕の餌となる桑の栽培、蚕の飼育を行っています。また、国の研究機関と共同で新機能カイコの研究飼育にも挑戦しています。さらなる拡大に向け地域雇用の促進、そして奄美での養蚕業復興に取り組みます。

シルクの新たな可能性を模索するため研究活動に注力する私達ですが、今では奄美(本社、工場)・鹿児島(研究)・福岡(通信販売)・京都(事務所兼店舗)・東京(直営店)の5拠点と広がりました。私達はシルク市場、特に化粧品分野でニッチトップ企業を目指し活動しています。奄美から国内そして世界のみなさまに美と健康を届けられるよう、これからも絹とともに歩み続けます。



弊社の商品群(一部)



龍郷工場の外観